

1. 科目名 (単位数)	更生保護 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP4101 SCMP4301 SBMP4301 PSMP4401								
2. 授業担当教員	久保 貴										
4. 授業形態	講義、集団討議、学生との応答、途中確認テスト・小テストの併用、期末に試験を行う。	5. 開講学期	春期								
6. 履修条件・他科目との関係											
7. 講義概要	<p>犯罪や非行をした人の立ち直りを図り、再び犯罪や非行を起こさせないようにするには、その素質、環境を考慮しつつ、その人に必要な各種の支援、福祉という自立支援が必要である。これらの支援は、警察、検察、裁判、矯正の各段階で行われているが、本科目では、この内の社会の中での働きかけ（処遇）を中心とする更生保護制度について、その概要、担い手、関係機関・団体との連携、また、心神喪失等の状態で重大な犯罪を行った人の社会復帰の促進を目的とする医療観察制度の概要、さらには、更生保護制度の運用の実際と今後の展望等について学習する。</p>										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉との関連において必要とされる更生保護制度の基礎的知識について理解し、説明することができるようになる。 2. 更生保護の組織を中心に、刑事司法・少年司法分野で犯罪前歴者等の支援活動に関与する組織、団体及び専門職について理解し、説明することができるようになる。 3. 更生保護制度における関係機関・団体との連携のあり方について理解し、説明することができるようになる。 4. 保護観察所が担う新たな役割として、福祉機関・団体などとの密接な連携の下に実施される被害者支援や医療観察制度について理解し、説明することができるようになる。 5. 更生保護の運用の実際と今後の展望について考察し、自分の言葉で表明することができるようになる。 										
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	アサイメントとしては、講義前にはテキストの該当箇所を読み、講義後は知識の定着を図るため、再度、テキストやレジュメに目を通す。										
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 20 更生保護制度 [第4版]』中央法規出版、2017。</p> <p>【参考書】 藤本哲也・生島浩・辰野文理編著『よくわかる更生保護』ミネルヴァ書房、2016。 松本勝編『更生保護入門 [第5版]』成文堂、2019。 法務省法務総合研究所『犯罪白書 令和2年版』昭和情報プロセス株式会社、2020。</p>										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポートや論文の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 分かりやすい表現方法や明瞭かつ論理的な文章を作成する力がついたか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>2. 期末試験</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>3. 課題レポート</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>4. 日常の学習状況</td> <td>総合点の20%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の20%	2. 期末試験	総合点の40%	3. 課題レポート	総合点の20%	4. 日常の学習状況	総合点の20%
1. 授業への積極的参加	総合点の20%										
2. 期末試験	総合点の40%										
3. 課題レポート	総合点の20%										
4. 日常の学習状況	総合点の20%										
12. 受講生へのメッセージ	聞きなれない法律用語等が数多くあると思いますが、なるべくわかりやすく図表を用いて説明したいと思っておりますので、わからない用語については積極的に質問して下さい。										
13. オフィスアワー	授業において周知する。										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第1回	オリエンテーション 更生保護制度の概要Ⅰ (刑事司法の中の更生保護)	事前学習	シラバス、教科書 pp. 1～14 を読んで授業に臨む。								
		事後学習	オリエンテーションで学んだことを整理するため、再度、教科書の該当箇所を読み直す。								
第2回	更生保護制度の概要Ⅱ 仮釈放等	事前学習	教科書 pp. 15～22 を読んで授業に臨む。								
		事後学習	仮釈放等について学んだことを整理するため、教科書及び参考書の該当箇所を読み直し、質問等があればまとめる。								
第3回	更生保護制度の概要Ⅲ 保護観察	事前学習	教科書 pp. 23～36 を読んで授業に臨む。								
		事後学習	保護観察の内容について復習し、重要箇所をまとめる。								
第4回	更生保護制度の概要Ⅳ 生活環境の調整、更生緊急保護	事前学習	教科書 pp. 37～49 を読んで授業に臨む。								
		事後学習	生活環境の調整、更生緊急保護に関して、要点をまとめる。								
第5回	更生保護制度の概要Ⅴ 更生保護における犯罪被害者等の施策	事前学習	教科書 pp. 50～52 を読んで授業に臨む。								
		事後学習	犯罪被害者等に関する4つの施策を中心にまとめる。								

第6回	更生保護制度の概要Ⅵ 恩赦、犯罪予防活動	事前学習	教科書 pp.53～60 を読んで授業に臨む。精読しておく。
		事後学習	恩赦の種類とその内容、犯罪予防活動の意義及び内容について、要点をまとめる。
第7回	更生保護制度の担い手Ⅰ 保護観察官、保護司	事前学習	教科書 pp.61～67 を読んで授業に臨む。
		事後学習	保護観察官と保護司の各役割を整理し、両者がどのように協働しているかをまとめる。
第8回	更生保護制度の担い手Ⅱ 更生保護施設、民間協力者	事前学習	教科書 pp.68～76 を読んで授業に臨む。
		事後学習	更生保護施設の内容、更生保護女性会・BBS・協力雇用主を中心とする民間協力者の役割についてまとめる。
第9回	更生保護制度における関係機関・団体との連携Ⅰ 裁判所、検察庁とのかかわり	事前学習	教科書 pp.77～87 を読んで授業に臨む。
		事後学習	刑事司法制度の流れを念頭に置きながら、裁判所、検察庁とのかかわりについて整理する。
第10回	更生保護制度における関係機関・団体との連携Ⅱ 矯正施設、児童相談所、公共職業安定所・自治体等、民間団体とのかかわり	事前学習	教科書 pp.88～101 を読んで授業に臨む。
		事後学習	施設内から社会内処遇へ移行する際に、どのような関係機関や団体がかかわっているかを意識しながら、要点をまとめる。
第11回	医療観察制度の概要Ⅰ 医療観察法に基づく処遇制度の創設、生活環境の調査、生活環境の調整	事前学習	教科書 pp.103～110 を読んで授業に臨む。
		事後学習	医療観察制度における処遇の流れをもとに、各段階での内容を押さえる。
第12回	医療観察制度の概要Ⅱ 地域社会における処遇、関係機関との連携	事前学習	教科書 pp.111～115 を読んで授業に臨む。
		事後学習	前回の流れを踏まえ、社会復帰調整官による精神保健観察、関係機関との連携について整理し、まとめる。
第13回	更生保護制度の運用の実際と今後の展望Ⅰ 保護観察官の業務の実際、社会復帰調整官の業務の実際	事前学習	教科書 pp.117～135 を読んで授業に臨む。
		事後学習	事例を思い浮かべながら、保護観察官及び社会復帰調整官の業務内容について整理し、まとめる。
第14回	更生保護制度の運用の実際と今後の展望Ⅱ 更生保護の今後の展望	事前学習	教科書 pp.136～145 を読んで授業に臨む。
		事後学習	更生保護制度改革を契機とする様々な施策について整理し、まとめる。また、最終講義へ向け、質問等があればまとめておく。
第15回	まとめ	事前学習	更生保護制度全体について、まとめておく。
		事後学習	総復習を行う。

期末試験